

会派代表質問

私たちが目指すのは、キメ細かなそ して市民目線に立った市政である！



石渡 登志男 議員

問 先ずは避難所生活のあり方について。日本は過去の地震の教訓が活かされない。実は今年の6月5日、東京消防防災展に行ってきた。避難所生活について調べた。災害時に役立つ間仕切り、価格はそう高くもない。災害時における市民の避難所生活にどうして私がこだわるのか。災害時の避難所生活は、体育館等にブルーシート等を敷き、住民の皆様方に「さあ、ここでやすみください」と。これにより、東日本大震災では避難者が極度のストレスで手足の震えが止まらず、そんないれん発作で入院患者が急増した。車中泊もある意味過酷。正式な避難所でない食料や飲料水等、提供が困難だからだ。東北大学と市立病院の研究チームが避難所の環境や災害時の栄養管理等を改善し次に備えて欲しいと言っている。地震、火災、津波で助かり、避難所で亡くなったら何のための避難所かということになる。そこで間仕切りやダンボール簡易ベッド等を避難所生活の改善ということについて検討してもよいのではないのか？

答 災害等による避難所生活は、プライバシーの確保や、ストレスによる健康被害への配慮等、多くの課題に対応する必要があると認識しています。現時点では、これら全ての課題に対応する体制は出来ていませんが、避難所生活における良好な環境の確保に向けた対策について検討します。

問 よい答弁。内閣府もガイドラインで継続的な避難者には簡易ベッドの確保の必要を促している。災害時、市民の方々にブルーシート1枚の上になんか敷いた対応はあつてはならないということだ。よく検討の程を。次に市の食料や飲料水等の最新備蓄についてお訊きするが、災害時

にとっても大事なことです。私は駅前演説で、「各ご家庭でもしつかりと備蓄をしてください」と常に訴えている。食料や飲料水等の市の最新備蓄はどれくらいあるのか？

答 現在の備蓄状況ですが、食料は3万9392食で、目標数値を確保しています。飲料水は3万3756ℓの備蓄で、目標の約86%を確保しています。今年度は更新分を含め、食料は1200食を、飲料水は5千ℓを購入予定であり、今後も、食料や飲料水、生活必需品等の物資について非常時に的確に対応できるように備蓄や調達に努めてまいります。

問 子育て世代のマイホーム購入サポート事業について。7月2日から4日にかけて、議員の行政視察に行ってきた。北海道の北広島市だが、本市とよく似ている。生産年齢人口だが、本市は約55%で、北広島市は約58%、老年人口比率は両市とも約28%、平均年齢も両市とも約48歳、財政力指数もほとんど変わらない。ただ、似ていない部分がある。住みやすいかどうかで、住みよさランキングで北広島市は2018年まで5年連続北海道内において堂々の第1位。札幌市という大きな都市がある中で、本市は以前のデータだが、同じ調査で住みよさランキング、県内37市ある中で第36位。全国791都市の中で第737位という残念な結果。北広島市、サポート事業を打ち出したら、何と真夜中の午前3時から希望者が列をなした。若い人を呼び込む施策として手ごたえを感じていると市は言う。財源についてお訊きしたが、自主財源以外に国からの補助金をうまく活用している。また、お試し移住も行い、ある意味では人口増加と若い定住促進についてはどん欲である。本市の場合、みどり丘だけが人口が増えている。本市人口増加の力ぎを握るのはみどり

が丘以外にないが、子育てしやすいような環境を整えるだけでは難しい。それにはみどりが丘の利便性も考え、バスの増便や商業誘致を行う事が重要。でも、最後は嫌らしい話かもしれないが、やはりお金。全国的に見ても人口増の自治体はこういった制度を行っている。茨城県の神栖市も若年世帯住宅所得補助金交付事業を行い、人口が毎年増え続けている。そういったサポート事業を考えてみたらどうか？

答 国や県の移住促進イベント等にも積極的に参加し、市のPRや移住相談にも努めています。さらに若い世代の移住・定住策として児童福祉施設子育て支援館や(仮称)子育て交流センターの整備を進めております。また、北広島市の事例についても費用効果等も含め、本市の実情に合った施策を検討します。

問 通学路の安全確保・災害時避難として、私は数年前、ブロック塀の調査を行った。そして子どもたちに対するブロック塀の危険性を指摘し、これでは危険なブロック塀が「子どもたちの命を奪ってしまう」ということで担当課長と話をした。日本はこの間の地震のように、誰かが犠牲にならない限り動かない。学校以外の通学路についてもこれから調査を行い、どうぞその対処をお願いしたい。

問 波乗り道路のアンダーパス(陸間部分)の進捗状況を問う。

答 県では開閉形式の選定に向けて開口部ごとに現地条件を整理し、運用方法や管理方法について協議を行っているところでございます。市としても、早期に協議を終結し、速やかな工事着工を求めてまいります。

関連質問 堀本孝雄 議員



問 波乗り道路のアンダーパス(陸間部分)の進捗状況を問う。

答 県では開閉形式の選定に向けて開口部ごとに現地条件を整理し、運用方法や管理方法について協議を行っているところでございます。市としても、早期に協議を終結し、速やかな工事着工を求めてまいります。

問 波乗り道路脇の排水路は、堆積土砂や繁茂する雑草などにより、流水が阻害され、悪臭等により非常に環境が悪化しているが、その対策をお願いしたい。

問 波乗り道路脇の排水路は、堆積土砂や繁茂する雑草などにより、流水が阻害され、悪臭等により非常に環境が悪化しているが、その対策をお願いしたい。

答 延長3.5kmにわたる海岸に隣接した排水路であります。私も再々現地を確認したところ、複数の部分において土砂が堆積しており、この全てを撤去することは莫大な事業費が必要となり、短期間での対応は困難であります。排水機能を確保するため、継続的に部分的な土砂の撤去を検討していきたい。

問 波乗り道路脇の排水路は、堆積土砂や繁茂する雑草などにより、流水が阻害され、悪臭等により非常に環境が悪化しているが、その対策をお願いしたい。

答 延長3.5kmにわたる海岸に隣接した排水路であります。私も再々現地を確認したところ、複数の部分において土砂が堆積しており、この全てを撤去することは莫大な事業費が必要となり、短期間での対応は困難であります。排水機能を確保するため、継続的に部分的な土砂の撤去を検討していきたい。



早期のゲート(扉)の設置を求める!!

問 波乗り道路脇の排水路は、堆積土砂や繁茂する雑草などにより、流水が阻害され、悪臭等により非常に環境が悪化しているが、その対策をお願いしたい。

答 延長3.5kmにわたる海岸に隣接した排水路であります。私も再々現地を確認したところ、複数の部分において土砂が堆積しており、この全てを撤去することは莫大な事業費が必要となり、短期間での対応は困難であります。排水機能を確保するため、継続的に部分的な土砂の撤去を検討していきたい。

個人質問

第3子以降の給食費の無償化は、 670万円。無理な数字ではない



佐久間 久良 議員

問 義務教育無償の原則に基づき、給食費や副教材など教育費負担を軽減する考えはあるか。

市長 未来を担う子どもたちが心豊かに育っていくために、安全確保や学習環境の向上、教職員の労働環境の改善などに努めることが必要である。厳しい財政状況ですが、可能な限り子どもたちの学習環境の整備や施設の充実、さらには教職員の労働環境の改善に努めていく。

問 給食費は、小学校で月額4,500円、年間では約4万9,500円、中学校は月額5,200円、年間では約5万7,200円。市の補助金は、小学校で月額500円、中学生は月額600円。給食の費用はいくらになるのか。

答 総額は約1億8,300万円です。市補助金を除いた学校給食費は、全体で約1億6,400万円です。

問 給食費は、小学校で月額4,500円、年間では約4万9,500円、中学校は月額5,200円、年間では約5万7,200円。市の補助金は、小学校で月額500円、中学生は月額600円。給食の費用はいくらになるのか。

答 総額は約1億8,300万円です。市補助金を除いた学校給食費は、全体で約1億6,400万円です。